

校長室より

平成28年5月10日

介護職員初任者研修事業開講式に出席して

5月2日（月）、平成28年度白鷹町社会福祉協議会主催の介護職員初任者研修事業開講式に出席させていただきました。平成24年度より実施され、これまで13名の生徒が受講し、全員が修了しています。今年度は本校の生徒6名が受講することになりました。10月28日の修了式までに、130時間の研修を受講します。最後には、実技試験、筆記試験があります。研修内容を拝見いたしますと、講義だけではなく、会場を町内の福祉施設に移しての実習もあります。生徒は放課後、学校が休みになる置賜地区高校総体の代休日や夏休みなどに受講することになります。欠席をすると修了できなくなるので、生徒は真剣そのものです。

この研修を希望する生徒は、全員が高校卒業後に介護の仕事を希望しています。将来を考え、目的をもって勉学に励むことは、大変よいことだと思います。少子・高齢化が進むなか、福祉の仕事に就く人が不足していることが報道されています。高等学校を卒業するだけではなく、福祉に関する知識を持って就職することは有意義なことです。今年も全員が最後まで研修を受講し、試験に合格して修了証書を手にするのを応援していきたいと思います。

この研修には一般の方3名も受講しています。高校生が一般の方々と一緒に研修を受講する機会は、少ないのではないかと思います。これまで多くの経験をされた一般の方々は、高校生にとってはよいお手本になることだと思います。

研修を実施される関係者の皆様に、感謝する気持ちでいっぱいでした。

